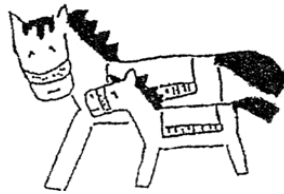


♪  
お馬のかあさん  
やさしいかあさん  
子馬をみながら  
ぽっくりぽっくり  
あるく

# おうまのおやこ

子育ても  
あせらず待ちましょ  
ポックリ、ポックリと

27年 12月 NO. 253



〒 760-0044 香川県高松市御坊町2-2  
高松保育園内地域子育て支援センター  
TEL:087-821-9347 FAX:087-851-0857  
<http://oumanooyako.sakura.ne.jp/>

(厚生労働省・高松市委託事業)

～どなたでも～		12月の主な活動	～お気軽にどうぞ～
12月 5日	土	体験保育 10:00～12:00	同じ年齢のクラスに入って いっしょにあそびましょう。
12月 19日	土	体験保育 10:00～12:00	出産予定の方も子育て体験や 見学においで下さい。
12月 19日	金	おとなアート 14:00～16:00	显らせた紙に色をおき、広がる色彩を楽しみます。 雑巾2枚とプリンカップ3個ご持参下さい。
12月 21日	金	香川みすゞさんの会 14:00～16:00	砂古口早苗さんに「香川の有名人の幼年時代を 語る」をお聞きし、フリートークします。
12月 25日	土	健康・育児相談 11:00～12:00	園医師（小児科医）にゆっくり相談できます。 (要予約)

・火～金の13時～16時までは、園内開放しています  
ので、親子でご来園下さい。  
(但し、月・日曜・祭日は休み)

育児相談（月～土）9:00～18:00

しつけや子育てについての悩み、保育園生活  
入園・見学についての相談もどうぞ。



金子みすゞ童謡全集④  
空のかあさま・下

私は繩を大事に手に巻いて、  
繩とび出来る、裏まちへ。

一つゆすればぶつかった、  
電信柱にぶつかかった。  
そこでぶらんこときました。

だって、ここにや木はないし、  
家はせまくて叱られる。  
そこで私はかけました。

電信柱の鉄の枝、  
電信工夫ののぼる枝。  
私はぶらんこかけました。

ぶらんこ



今日は、市医師会看護専門学校の学生さんが、実習してわかったことや感じたことを、夏の実習から数か月たちましたが、クラス別にご紹介します。

### ことり組（乳児）

◎遊びを通して色々なことに興味や関心をたかめ、知的、情緒、社会性能力を得る。そのため、こどもが興味をもって遊んでいるときは、事故がおこらないように注意することは必要だが、遊びの主体はこどもであるから見守りの援助が大切である。乳児期は、視覚や聴覚などの機能が発達していくため聞く、見る、握る、といったつるしてあるおもちゃやガラガラが適している。遊びを通して運動能力が発達するよう育ちに合わせて座ったり腹這いにするなど援助していく。

◎お昼寝は、日中の遊びに関連した疲れやストレスの軽減、また生活リズムを整えるために昼寝は必要であり習慣化されている。すぐ昼寝する子、泣き続ける子、20分位で目覚める子などさまざまである。

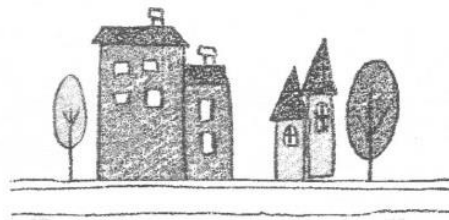
### つくし組（1歳児 12月～3月生）

◎食事やおやつは、順番に席につき、みんなで「いただきます」をする。手を合わす事ができる子、できない子もいる。スプーンにのせると自分で食べられる子、手で食べる子、スプーンをつかって汁を飲む子などさまざまである。コップに手を入れたり手づかみのため床やテーブルは、食べこぼしが多い。床の汚れは、転倒や拾い食べの危険もあり、アレルギーの子にはリスクがたかくなるので、速やかに片づけを行う。

◎絵本の読み聞かせは、質問を交えたり、本への指さしを促したりすることで、言葉や指示に対する反応などの観察につながっている。1歳半健診ではこうした指示や話しかけに対する反応、物を認識して指さしできるかななどの確認項目があり成長、発達の目安とされている。家庭だけでなく長時間を過ごす保育園の中でのようすは、その子どもの成長、発達を観察する大切な場であり、そうした状況を家庭と共有することで様々な視点から子どもを理解することにつながっている。

### はと組（1歳児 4月～11月生）

◎食事やおやつの時間に遊び食べ、偏食、小食などが見られる子どももいる。食行動の問題にはムラがあり、活動量や空腹感によって左右されるものと考えられる。食行動への問題は今の時期だけのものであることが多いため、行動をやめさせるため、厳しくするより食事の時間が楽しくなるように遊びや活動量を増やす。食事時間の間隔をあけるなど、



食事に集中できる環境を作ることが大切であるとする。

### つぼみ青組 (2歳児)

◎まる朝夕のお礼の際には、正座をし、静かに前を向き手を合わせて行うため、2歳～3歳児にとっては大変な時間である。自我が強く、自己中心となっているため、隣の子の腕がすこし当たっただけでも気がそれてしまう。集団生活を行うためには、自我を押し通すことはできないため、保育者は時々声かけをして、気がそれてしまっても、元の進行状態へと導き直す必要がある。お礼の際は、火の取り扱いがあるため、走ったりふざけたりすることは、事故を招く恐れがあるから注意していくことが大切と感じた。

### つぼみ赤組 (2歳児)

◎この年齢は、何でも自分でやりたいが、うまくいかないという気持ちの葛藤があり、保育士や保護者に対して抵抗したり泣き叫んだりする様子がみられた。子どもの行動や感情を抑制することなくしつけを行っていくことが大切である。

また、保育園では連絡ノートをつかって保護者との連携をとることで、子どもがストレスを感じていないか、家庭環境に問題はないか早期に発見し、対処する事ができると分かった。

◎かき氷の塗り絵をするために、かき氷の実演をした。かき氷機に注目して「何かな？」「みんな知っているかな？」と声掛けをした。1人の園児が「かき氷」というと次々とおなじようにさげんでいた。2歳児は友達と一緒にの事を言ったりするのが好きな時期である。園児に方法や注意点を説明する時には、「こんなことをすると、こうなるから危険です。止めてください」などと例をいれて分かるようにつたえていた。数人の園児は、保育者の話をちゃんと理解していて「先生が△△△いかんって言いよったよ」という発言があった。

### さくら組 (3歳児)

◎人の話などに集中できない子どもでも興味のあることには集中力は高いと感じた。また子どもたちの認識方法、表現方法はさまざまであり、その考えを否定するのではなくその在り方を受け止め、その想像力を伸ばしていくことが大切だと考える。子どもの持つ力は何事であっても伸ばしていくことが可能性につながり、またそうすることが教育であり、おとなの役割の1つだと考え、私もそうありたいと考える。

◎手洗いは声かけして促すと自分で水道の蛇口をひねり、水を出して手を洗っていた。  
液◎体せっけんの泡を手の平に出すと十分にこすってよく洗い、水で流していた。手洗

い後。タオルでしっかり拭き取り「ばい菌さんのけるの」と言いながら洗っている子どもいた。

◎3歳での衣類の着脱はパンツを一人ではなく、服を自分で脱ぐことが課題となる。子どもに声かけをして紙おむつの用意はするが、おむつのまえにズボンをはこうとしたり、おむつの前後ろがわかっていなかったりしたが、見守りと少し手助けすることによりできていた。

### ほし組 (4歳児)

◎和太鼓の練習では、最初に保育士が見本の演奏をして見せた。4グループ9人に分かれて順に練習した。演奏中はどの子ども真剣だが自分の順番が終わると、立ったり話したりして集中力が切れていた。

◎食事については、全員が箸を持ちほとんど全量食べていた。静かに食べる子どもいれば、しゃべりながら食べている子どもいてスピードはそれぞれ個人差がある。しかし4歳児の食行動には楽しみやコミュニケーションもふくまれており、社会性やコミュニケーションを学ぶ入り口である。食べる速さ、リズム、マナー、環境なども保護者や保育者などが選択しているともいえる。このような食習慣は一定の食行動の繰り返しであるので、おとなの食にたいする考え方が子どもに大きな影響を与えるのではないかと考える。

### すみれ組 (5歳児)

◎保育活動(七夕まつりの製作)では、感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにするものである。4歳～5  
の子どもは、30分位は集中力を保つことができるが、就学を来年に控えるこの頃から40分～50分程度の活動を行なうことで、慣らししていく必要がある。集中力に欠ける子どもには声かけをしていき、自由あそびと全員の保育活動とのメリハリをつけることが大切だということが分かった。

◎子どもアート教室では針金と新聞紙、マスキングテープを使って創作活動をしていた教えてくれる先生の説明を聞かずに、黙々と作り続けている子がいた。そのため、次に行う作業が分からなくなって、先生に聞いている子が多かった。出来上がった作品を交代で説明する場を設けることで、他の子どもに自分が作った作品の説明や工夫した点を見つけて発表することで、自己表現の練習を行っていると感じた。

